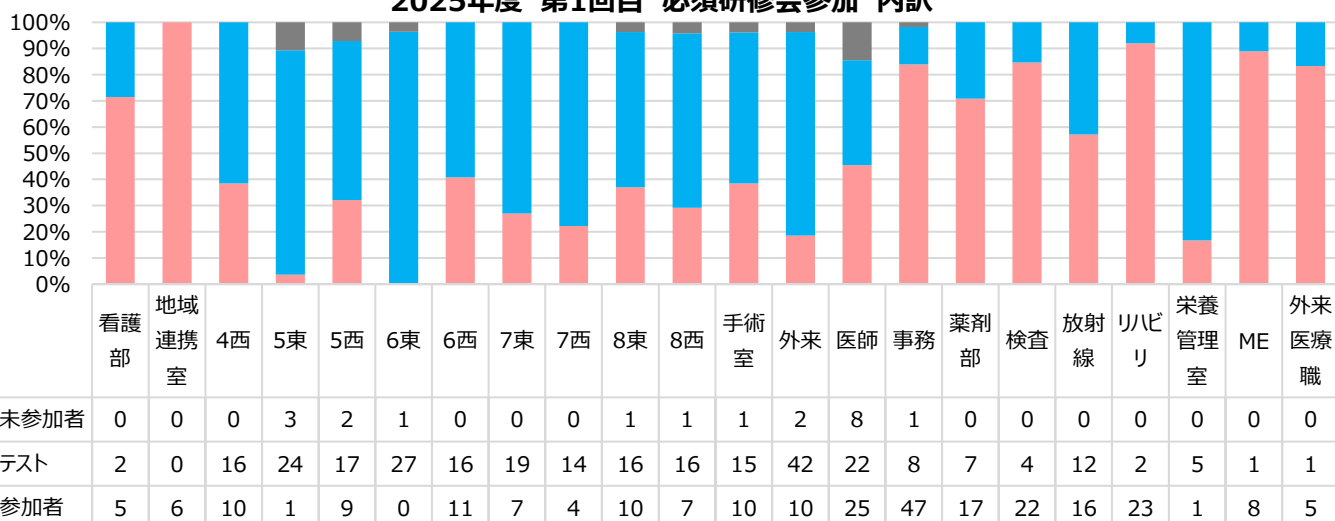


2025年度 第1回目感染必須研修報告

10月後半になりすっかり秋らしくなりました。東京ではインフルエンザの流行が例年より1か月早く始まったようです。釧路はまだそれほど流行していませんが気を付けましょう。今回は7月に実施しました職員研修会の参加状況をまとめましたのでご報告いたします。

2025年度 第1回目ICT・AST合同研修会 テーマ：「他人ごとではない梅毒の話」「梅毒治療薬について」
今回は梅毒に関するテーマで研修会を行いました。参加状況は以下にお示します。
感染必須研修は年2回以上、全職員を対象に実施することが感染対策向上加算の算定の要件です。全職員が全員参加することが求められます。テストは参加できない方のために実施しています。**2回目は12月を予定です。**

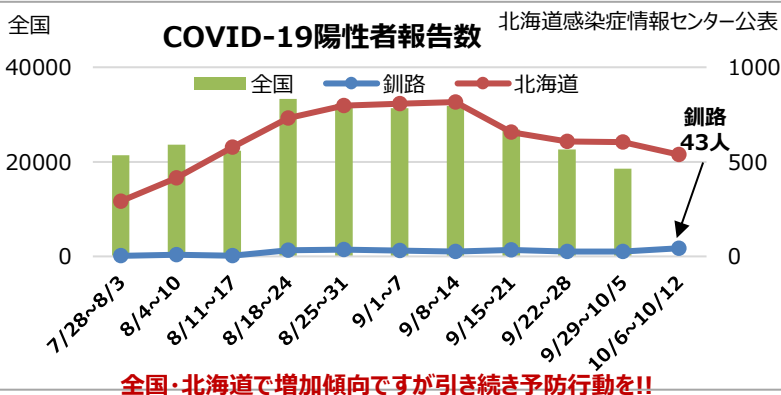
2025年度 第1回目 必須研修会参加 内訳



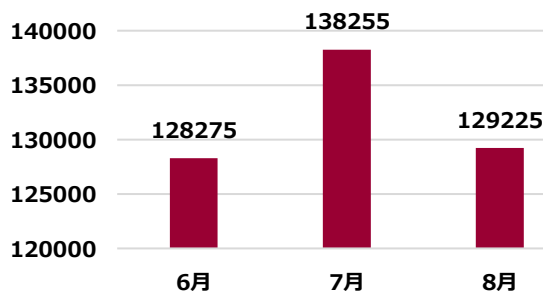
研修会に参加した職員は541名でテスト参加者も含みます（96.4%）。できるだけ多くの方が参加できるように1日2回時間を調整して研修会を企画しています。本来は全員がテストではなく参加できることが望ましいですが勤務の都合上、困難であることも承知しています。テスト受講でよいということではありませんので、今回参加できなかった職員の方は次回は必ず参加してくださいね。

テスト回答

- 設問①梅毒は一度感染して抗体を獲得すれば再感染しない⇒ 免疫としての機能はないので✕
設問②梅毒の病原微生物は梅毒トレポネマというウイルスである⇒ 梅毒は細菌なので✕
設問③梅毒の国際標準治療薬ペニシリン筋注製剤は日本では販売されていない⇒ 2022年に発売されているので✕
設問④神経梅毒にはペニシリン筋注製剤は有効でない⇒ 神経梅毒にはペニシリン静注製剤を使用するので○



2025年度 手指消毒薬使用量



感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会は個々の患者さんの状態に応じて対応しています。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。